

# Bのイメージ

ボーイズ

シャツ一枚でイメージはぐんとアップします。スーツの脇役でなく、シャツを主役とした着こなしを楽しんでみませんか？

## すっきりさせるこだわりを大切に

今回、お勧めしたいのは、好みと体形に合わせて作る「オーダーシャツ」です。既製シャツのサイズ選びは、首回りと袖丈が基本。サイズ合わせをしたつもりでも、ウエスト部分のだぶつきが気になる場合が多くあります。おなか回りの体形変化をフォローするためにも、体に合ったすっきりしたシャツへのこだわりは大切にしたいものです。シャツで一番個性を出せるのは襟部分ですが、この形選びにも顔の輪郭に合わせた基本があります。定番人気は

# 体形に合ったこだわりの一枚 シャツが主役の着こなしを楽しむ

山川みどり 国際イメージコンサルタント

「セミワイド」と呼ばれる、両襟が90度に開いた形。ふくよかな丸顔、四角い顔の方は「セミワイド」より両襟の開きが狭いもの、面長や細めの顔の方は「セミワイド」より開きが大きいものを選ぶとバランスがとれます。

タツミシャツ代表取締役の清水猛さんにトレンドを聞いたところ、「最近ではワンピースカラーが人気です」とのこと。ワンピースカラーとは、首回りから襟先までがひと続きになった一枚仕立ての襟。襟がしっかりと立つので、第1ボタンを外してもラフすぎず知的な印象を与えます。本来はノータイ用ですが、とつきのときにはネクタイ対応できることも人気の秘密でしょう。

## 光沢感のある素材で高級感を出す

実際にオーダーするとき、生地選びのポイントには光沢感。高級な雰囲気を出す光沢感は糸が細くなるほど出やす

くなります。糸の太さを表す「番手」表示がある場合は、100番を目安にするといいでしょう。色の定番は誰にでも似合うブルー系ですが、ごく薄めのピンクも顔色を明るくし、若々しさを感じさせるので、ぜひ、試してみてください。きたい色です。

オーダーならではの遊び心で、ボタン留め糸やボタンホールのがりがり糸などを目立つ色にすると、ひと味違うおしゃれな仕上がりになります。また、ボタンはプラスチックでなく白蝶貝にこだわることも、クオリティを上げるには、はずせないポイントです。

「シャツで傷むのは襟と袖口。そこをリフォームすれば長く着られます」（清水さん）。傷んでしまった襟と袖を白い生地でリフォームすれば、人気のクレリックシャツに変身。お気に入り着る、そんな思いで手にした一枚は装いの良きパートナーになりそうです。

※シャツの身ごろや袖と生地を変えた、襟と袖口だけが白いシャツ



やまかわ みどり ●プライムイメージ代表。国際イメージコンサルタント協会(AICI)ニューヨーク支部会員。ファッション専門誌、女性誌編集者としてファッション、心理学などのページを担当。大手製薬会社や化粧品会社の教育ツールの制作などにも数多く携わる。アメリカでAICIの国際ライセンスを取得し、ヘルス&ビューティ(H&B)・イメージコンサルティングを提唱する「プライムイメージ」を設立。  
プライムイメージ <http://www.primeimage.jp/>